

## 支部便り

## 第13回東海支部女性の会 「女性が活躍する軽金属業界のお仕事紹介 ～私のキャリアプラン～」開催報告

### Report on the 13th women's meeting "The introduction of jobs in the light metal industry where women play an active role" from Tokai branch

伊藤 麻美

Asami ITO

軽金属学会東海支部女性の会では、これまで支部会員と理系女子学生を対象にした支部行事として“ライフプラン・キャリアプランを考える”というテーマで講演会および交流会を開催してきた。今年度は令和4年8月9日（火）にWeb上にて開催し、軽金属業界の中でも製品技術、生産技術、研究開発・分析、営業といったさまざまな職種で働く女性にスポットを当て、業務の内容、それぞれの仕事の魅力、ワークライフバランス、プライベートの過ごし方などを講演いただいた。

講演者は以下の4名（講演順に記載、敬称略）

株式会社UACJ	小川 和代
ヤマハ発動機株式会社	大島 かほり
日本軽金属株式会社	伊藤 麻美
株式会社TYK	坂倉 慎子

参加人数は合計34名（講師含む）。所属内訳は学生6名、企業20名、大学6名、その他2名であった。講演会では、

- ・会社紹介、業務紹介、一日のタイムスケジュール
- ・研究開発、製造技術の違いとやりがい
- ・材料開発の面白さ
- ・出産、育児と仕事の両立
- ・入社のきっかけ
- ・営業の仕事とその魅力

など仕事内容を通してさまざまなお話を聞くことができた。中でも女性営業職の方のお話を聞く機会は少ないので大変興味深かった。女性で大変なことはないのかという質問もあったが、優しくしてもらえることの方が多いというお答えで、自分なりに考え、楽しみながらお仕事されている様子が印象的だった。

講演会後はZoomのブレイクアウトルーム機能を活用して交流会を行った。各ルーム4～5人に分かれ、1回15分で2回に分けて行った。周りに育休を取っている女性がいなくて育休後に職場復帰した話を聞くことができ視野が広がったといった感想や、夫が転勤したらどうなるのかといったリアルな質問、仕事とPTA活動への参加についての実体験、女性が大学内や仕事で受けるメリット、デメリットといった話など、どのルームもぎっくばらんな話題で大変な盛り上がりを見せた。開催後に行ったアンケートでも思っていたよりも交

流会の時間が短く感じた、もっと話したかった、交流会の時間を長くして欲しいという意見を多く頂戴し、交流の場提供の期待の大きさを実感した。また、今回はWeb開催という形態を生かし、東海支部内外から広く参加を募ったところ、研究者・技術者の方々だけでなく人事、知財、研究補助に携わる女性や男性にも参加いただくことができた。その結果、交流会ではこれまで以上に多彩な話題があがり有意義な意見交換をすることができたと考えている。

今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、参加者の方々と直接お会いできなかったこと、Web交流会の都合上、参加者全員とお話しできなかったことは残念であった。しかし、多くの方々に参加いただけて、ブレイクアウトルームでの交流会が大変盛り上がったことは世話人として嬉しい限りであった。今回の講演会および交流会を通して、軽金属業界で働く女性は増えているが職場ではまだ孤軍奮闘している女性が多いと感じた。そして、会社や職種の垣根を越えて交流し意見交換する場の大切さと当事者からライフプランやキャリアプランを紹介していただく意義を改めて感じた会でもあった。

東海支部では、今後も自身の今後は思い描くきっかけとなるような場や、多くの方々と交流を深められる場を提供できるよう講演会や工場見学など企画していく予定である。性別問わず、今後ともぜひ参加いただきたい。

最後に、本会開催にあたりお忙しい中講演いただいた講演者の皆様、参加いただいた方々ならびに参加者募集にご協力いただいた皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

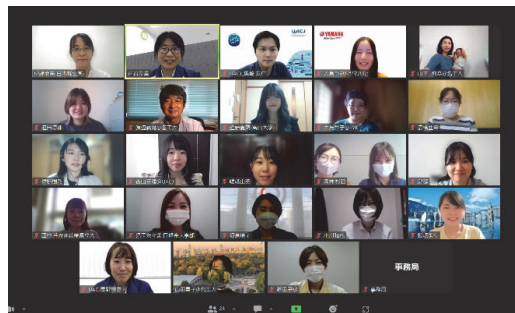


図1 参加者の記念撮影